沖縄におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進によるデジタル人材育成事業

「DX動画コンテンツ」制作業務　仕様書

１　委託業務名

沖縄におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進によるデジタル人材育成事業

「DX動画コンテンツ」制作業務

２　趣旨・目的

琉球大学では、令和５年度文部科学省「国立大学改革・研究基盤強化補助金」に採択された「Island Global Citizen」育成システムの創生～DXとデータサイエンスの共修によるリスキリングが導くWell- being Island～」事業において、デジタル活用技術を実践する人材「Island Global Citizen」を育成することとしている。具体的には、本学の教職員及び地域の社会人に対してDXや数理・データサイエンス等のオンデマンドコンテンツを開発し、本学が運営する動画配信システムにより配信し、受講者が自己学習することにより、個々人のデジタル活用能力の資質向上を図る。

これにより、学内や地域企業等の業務の効率化が図られ、更なるRX（琉大トランスフォーメーション）の促進と沖縄県における労働生産性の向上に資することを目的とする。

３　用語の定義

ＤＸ動画コンテンツ：

本事業で取り扱うＤＸ動画コンテンツとは、経済産業省「デジタルガバナンスコード２．０」に定義される、ＤＸ（デジタルトランスフォーメンション）を達成するため、経済産業省が策定するデジタルスキル標準（ver.1.1）を準拠したDX教育プログラム（別紙１）を琉球大学（発注者）が作成し、その教育プログラムに基づき作成された、分かり易く、理解しやすい動画オンデマンドコンテンツのことをいう。

（参考）

経済産業省「デジタルガバナンスコード2.0(２０２２年９月改定)」から

ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の定義

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること

４　業務内容

（１） DX動画コンテンツの制作

① 本学（発注者）が作成したDX教育プログラム（別紙１）に基づき、各項目ごとに１０本程度の動画コンテンツを作成すること。

② 動画は 5分程度を想定している。
動画の構成は、以下の例示を参考にしつつ、視聴者がDX動画コンテンツに飽きずに興味・関心を引くような内容となるよう工夫して制作すること。なお、受注者側は、動画の構成について台本（絵コンテ）を作成し、撮影する前までに発注者の了承を得ること。教育コンテンツの理解を促進するために動画の出演者が必要な場合は、受注者が準備する。なお必要に応じて発注者が出演者を準備することも可能とする。また、小道具等、必要なものを準備すること。

（例）オープニング、学習テーマの説明、学習内容、結論、エンディング等を含める内容。

③ シナリオの作成について

発注者がDX動画コンテンツ毎の簡単なあらすじを作成するので、それを参考に受注者は、動画コンテンツの出演者やナレーションが発言する台詞、シナリオ及びテロップを制作すること。

なお、発注者は、受注者側が制作した台詞やシナリオ（案）を動画撮影前に確認し、受注者は修正等の指示に従うこと。

④ スライドの資料等
発注者が準備したDX教育プログラムに基づき、受注者は、DX動画コンテンツのスライドやアニメーション及び効果音を制作すること。
なお、発注者は、受注者側が制作したスライドやアニメーション及び効果音等を確認し、受注者は修正等の指示に従うこと。

⑤ 動画の制作及び編集の品質について
１）制作にあたっては、動画視聴者が飽きないよう工夫することとし、撮影にて制作する場合は、出演者、ホワイトボード、モニター、複数のカメラ及び録音機材等を使用する等趣向を凝らし収録を行うこと。
また、全DX動画コンテンツの2割程度（うち14コンテンツは、）は、屋外等場所を変えるなど工夫をすること。連携機関等へのインタビューを入れること。なお、必要に応じて、発注者が提供する発注者内にあるスタジオ及び講義室を無料で使用することができるが、使用する場合には、発注者の関係部署との事前調整が必要となる。スタジオの構成や備え付けられている機器等は別紙２のとおり。
２）DX動画コンテンツごとに、受講者が視聴方法によらず継続的・反復的に視聴可能となるよう、オンデマンド配信に適した編集、分割、テロップ入れ、整音作業を行うこと。
３）映像の編集については、DX教育プログラムをよく理解した上で、要点を把握できるよう構成編集作業を行うこと。

⑥ 進捗管理
制作スタッフは、発注者と制作に関する事前打ち合わせ、制作後の編集に関する打合せを対面にて週２回程度行うこと。

⑦ DX動画コンテンツ制作に係る経費について
動画制作・編集に係る機材使用費、運搬費、保険料、通信費、出演者の手配、撮影場所、発注者までの交通費等、DX動画コンテンツの作成に係る経費は全て受注者が負担すること。

（２）前（１）のコンテンツ毎のテスト問題及び解答の作成

各 DX 動画コンテンツ終了後に、その単元を理解したかの小テストを実施する。以下の観点から、設問事項と解答を単一選択式、複数選択式、穴埋め式、記述式で作成する。

①学習するテーマのポイントを理解できたか。

②コンテンツで利用された用語を理解できたか。

③（例えば、エクセルなどの）操作の手順が理解できたか。

④応用する場合の対応方法が分かるか。

⑤その他

（３）広報動画の制作

受注者は、各 DX 動画コンテンツを案内・広報するため、本事業の概要を紹介する動画を制作する。動画は 120 秒程度とし、解像度は 1920×1080ps で制作すること。なお、制作にあたっては、視聴者が興味を引くような工夫を施すこと。

（４）業務委託実施体制

①統括責任者の配置

本業務委託の実施について、その進捗を管理する責任者を１名配置すること。ただし、必ずしも専任である必要はない。

②実施体制表の作成

本業務委託の実施体制（従事者の名簿及び役割分担などを含む）を示す実施体制表を作成すること。

③実施スケジュール

納品までの業務計画を示した各月における実施スケジュールを作成し、受注後速やかに提出すること。

５　業者選定

上記「３　業務内容　（１）DX 動画コンテンツの制作」を参考に、DX 動画コンテンツ案１本を令和６年８月２２日（木）１７時までに本学財務部経理課に提出し、選定（プレゼンテーション）を行う。プレゼンテーションは令和６年８月２６日（月）１４時から本学の大学本部棟 第二会議室で実施し、審査委員会において審査基準により総合的に評価・審査し、採択者（社）を選定する。

※DX 動画コンテンツ案にかかる制作経費は提案者の負担とする。

６　納入物・納期・納入場所

（１） 納入物

① DX 動画コンテンツ

以下の内容を 2 セット提出すること。

１）DX 動画コンテンツ数：100 本

２）動画のファイル形式：動画コーデック H.264、音声コーデック AAC、ファイル形式 mp4、解像度 720p

３）１つの DX 動画コンテンツの時間： 5 分程度

４）制作に使用した全てのデータ

５）完成版ファイル及び編集可能ファイル（Adobe Premiere Pro、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator で作成）

※DX 動画コンテンツは、DX 教育プログラムの項目（１０回程度から構成される教育内容のまとまり）を単位として、制作が完了したものから随時 DVD-R にて提出する。
納期には完成したすべての提出物を HDD にてまとめて再度提出する。

② 前①のコンテンツ毎のテスト問題と解答のデータ

以下の内容を DVD-R に納め 2 セット提出すること。

１）本数：小テスト問題及び解答のデータ：100 本

２）設問形式：単一選択式、複数選択式、穴埋め式、記述式

３）提出ファイル：ＥＸＣＥＬ

※コンテンツの単元テストは、DX 教育プログラムの項目（１０回程度から構成される教育内容のまとまり）を単位として、制作が完了したものから随時 DVD-R にて提出する。
納期には完成したすべての提出物を HDD にてまとめて再度提出する。

③ 前①及び②のデータを動画配信システムへ登録

発注者が指定する動画配信システムへ登録すること。登録方法は手入力となる。

④ 完了報告書

本仕様書の内容と相違なく、請負業務を完了したことを報告する完了報告書を提出すること。

（２） 納期

令和 6 年 12 月 27 日（金）まで

納入方法：HDD

※動画コンテンツ及び単元テストは、DX 教育プログラムの項目（１０回程度から構成される教育内容のまとまり）を単位として、制作が完了したものから随時 DVD-R にて提出するが、納期には完成したすべての提出物を HDD にてまとめて再度提出する。

（３） 納入場所

琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課（大学本部棟１階）

住所：沖縄県中頭郡西原町字千原１番地

7　スケジュール

①公　募　開　始：令和６年８月９日（金）

③DX 動画ｺﾝﾃﾝﾂ案の提出期限：令和６年８月２２日（木）１７時

④③に関するプレゼン：令和６年８月２６日（月）１４時～

⑤契　約　締　結：令和６年８月末

⑥契　約　期　間：契約締結日から令和６年１２月２７日（金）まで

⑦納　入　期　限：令和６年１２月２７日（金）

8　留意事項

（１） 著作権

① 成果物について、著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）に規定する全ての権利（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）及び所有権等は発注者に帰属するものとし、受注者は著作物及びこれに類するものについて、著作者人格権を行使しないものとすること。

② 成果物は、発注者が無償で自由に二次使用できるものとする。

③ 前①及び②については、本委託業務で生じた中間成果物についても準用するものとする。

④ 第三者の著作物を使用する場合の著作権の取り扱いについては、以下のとおりとすること。

１）制作物に、第三者が権利を有する既存著作物を使用する場合は、使用許諾条件を確認したうえで、無償かつ無制限に使用できるものを優先し、手続き等に必要な費用は受注者が負担すること。

２）制作物に、第三者が権利を有する既存著作物が含まれる場合は、受注者は当該既存著作物使用に必要な費用負担及び使用許諾契約等に関わる一切の手続きを行うこと。この場合、受注者は 当該既存著作物の内容について事前に発注者の了承を得ること。

３）第三者から著作権その他の権利の侵害等の主張があった場合は、受注者がその責任においてこれに対処し、損害賠償等の義務が生じたときは、受注者がその全責任を負うこと。

（２） 情報の取扱

受注者は、本調達に係る業務の実施のために発注者が提供する情報及び当該業務の実施において知り得た情報について、以下の事項を遵守すること。ただし、既に公知である情報については、この限りではない。

① 本調達に係る業務のみ使用し、他の目的には使用しないこと。

② 本調達に係る業務を行う者以外には機密とすること。

（３） その他

①受注者は、本業務に係る全てにおいて不当な交渉や強引な手段等により発注者の信用を失墜させるような行為をしてはならない。

②受注者は、本業務の遂行に際して、発注者が受注者に提供する秘密情報を取り扱うにあたっては、善良なる管理者の注意をもって漏えい等防止の取組を行い、適切な情報管理を行うこと。また、本業務の目的以外には利用しないこと。

③仕様にない事項又は仕様について生じた疑義については、発注者と協議の上、解決すること。

④受注者は、本業務において撮影した映像、音声、ファイル等のデータを業務終了後、全てデータ消去用ソフトフェア等を使用して、復元できないように確実に消去すること。

別紙１

DX教育プログラム

No	項　　目	内　　容
1	変化への適応(経営者向け)	人材確保によらない業務遂行にシフトすることの必要性、意義、効果について知る
2	変化への適応(従業員向け)	日々の業務にDXを取り入れることの目的を知る
3	顧客・ユーザのニーズや課題の発見	日常業務の中で、顧客やユーザ目線のニーズや、業務の課題の発見の仕方を知る
4	AIの基本	生成AIとは何か、何ができるのか、業務の中での活用事例を知る
5	スマホでできるデジタル化	スマホなど身近なツールでできるデジタル化の方法と、デジタル化したデータの活用の仕方を知る
6	コミュニケーションツール	チャットなどの業務効率化に利用できるコミュニケーションツールの使い方を知る
7	関連団体へのインタビュー	各企業団体のDXについての考えやこれからの施策についてのインタビューを伝える
8	事例紹介	様々な県内事業者のDX取組事例を、動機や効果などを交えて伝える

別紙２

スタジオ使用機材及び構成について

１．使用機材

- ワークステーション（PC）　DELL ThinkStation Intel ® Xeib® W-2223 CPU 3.6GHz
- ZOOM
- 動画編集ソフト（OBS Studio, DaVinci Resolve）
- グリーンバック（壁常設とグリーン布スクリーン各種）
- スタジオ照明（LED スタンド照明） x　6
- スタジオカメラ（Blackmagic Design 4K）
- ビデオカメラ（SONY HDR-CX650）x 2
- ビデオカメラ兼用コンパクトデジタルカメラ（Canon EOS　M200、Olympus Pen E-PL9）
- スタジオカメラ交換レンズ（Olympus 0-150 zoom lens, 14-42 zoom lens; Lumix 12-35 zoom lens）

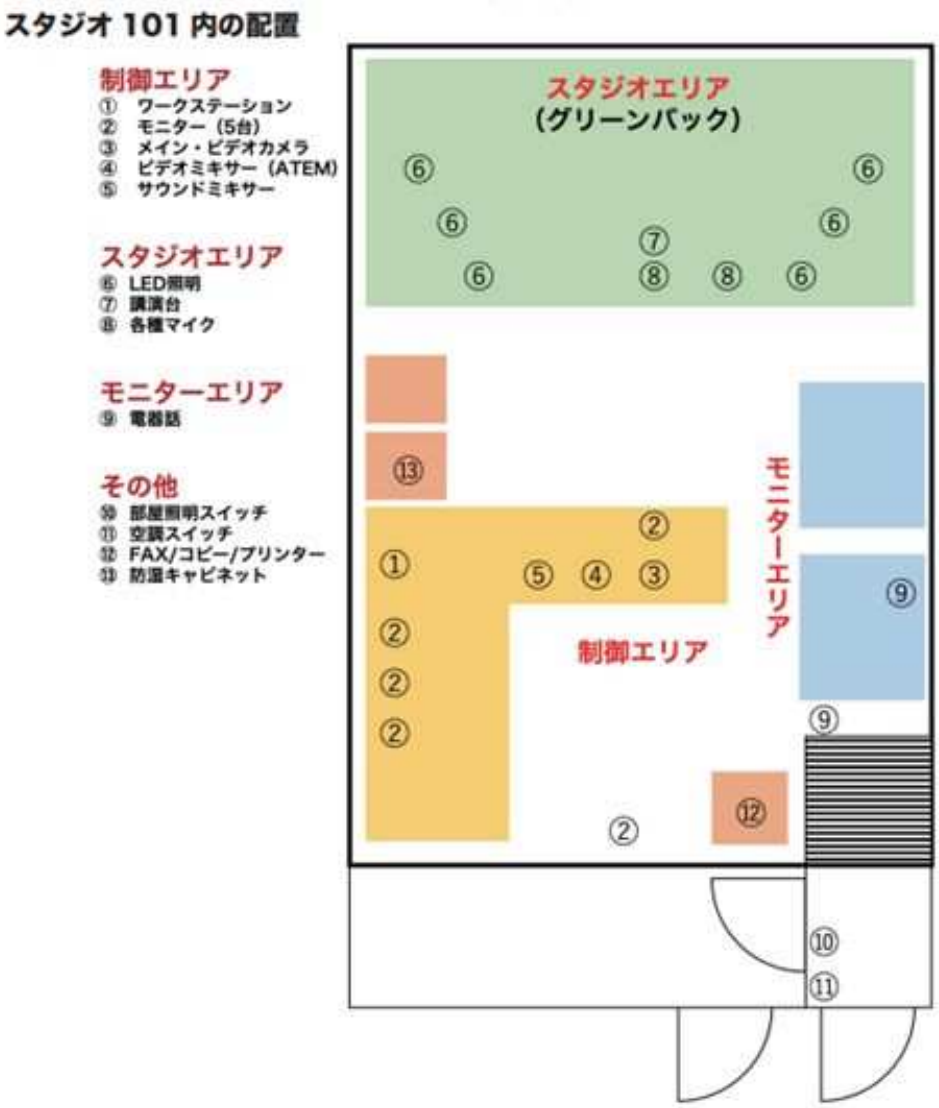
- レンズ変換アダプター（K & F Lens Adapter、Canon lens M4/3 変換 ）
- 各種マイク（コンデンサーマイク、ダイナミックマイク、ワイヤレスマイク）
- ビデオミキサー・スイッチャー（ATEM mini Pro、ATEM mini）
- オーディオミキサー（YAMAHA AG03、ZOOM L-8 LiveTrak）
- プロンプター（ハーフミラー原稿投影機 Prompter Duo）
- カラーレーザープリンター（Canon MF772）
- コピー機（Canon MF772）
- ファックス（Canon MF772）
- Wi-Fi ルーター（有線接続可）
- 内線（外線使用可、固定　＋　子機）
- インターコム（トランシーバー KENWOOD Demitoss UBZ-LP20 X 5

２．動画編集使用しているソフト

OBS (Open Broadcaster Software) https://obsproject.com/ja DaVince Resolve (Blackmagic design)

https://www.blackmagicdesign.com/jp/products/davinciresolve

３．スタジオ構成配置


スタジオ 101 内の配置
制御エリア
① ワークステーション
② モニター（5台）
③ メイン・ビデオカメラ
④ ビデオミキサー（ATEM）
⑤ サウンドミキサー
スタジオエリア
⑥ LED照明
⑦ 講演台
⑧ 各種マイク
モニターエリア
⑨ 電器類
その他
⑩ 部屋照明スイッチ
⑪ 空調スイッチ
⑫ FAX/コピー/プリンター
⑬ 防湿キャビネット
スタジオエリア
(グリーンバック)
モニターエリア
制御エリア